

今日的テーマの研鑽と、 新しい技術への取り組みを続ける企業へ



高橋 公浩

株式会社開発工営社 代表取締役社長

我が国は今年も災害の多い年でした。

震度5強以上の地震は、2月 福島県沖地震、3月 宮城県沖地震、5月 宮城県沖地震、10月 青森県沖地震と東京・埼玉地震が発生しました。降雨災害は、7月 神奈川県・静岡県・鳥取県・島根県・広島県・鹿児島県等、8月 青森県・長野県・広島県・福岡県・佐賀県・長崎県等で発生しました。さらに10月20日には阿蘇山が噴火しました。

北海道では人的被害はなかったものの、8月に大雨等による被害が発生しました。

亡くなられた方のご冥福をお祈りするとともに、被害に遭われた方々に心よりお見舞い申し上げます。また、災害対応、復旧にあたる皆様に深く敬意を表します。

災害の中でも、降雨災害は気候変動の顕在化に伴い増加・激甚化していると感じます。このような状況を踏まえ、室蘭工業大学の中津川 誠教授に『気候変動と流域治水』と題し(株)開発工営社でご講演いただくとともに、本誌『NOTE KOEI』に、寄稿していただきました。

(株)開発工営社は、このような今日的なテーマの研鑽、新しい技術への取り組みを続けることにより、社会的ニーズにお応えしてまいります。

おかげさまで、弊社は15年連続で北海道開発局優良工事等表彰を頂戴し、さらに開発建設部長表彰、北海道開発局 i-Con 奨励賞をいただくことができました。弊社の成果が、発注者のみなさまから評価していただいたことに、心から感謝申し上げますとともに、これからも発注者のみなさまの良きパートナーとして必要な存在であり続けるよう、努めて参ります。

今後とも弊社をご愛顧くださいますよう、お願い申し上げます。